

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	マジョリティ・パープル	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.570	△RG	0.035	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：マジョリティ・パープル

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：マジョリティ・ブルー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

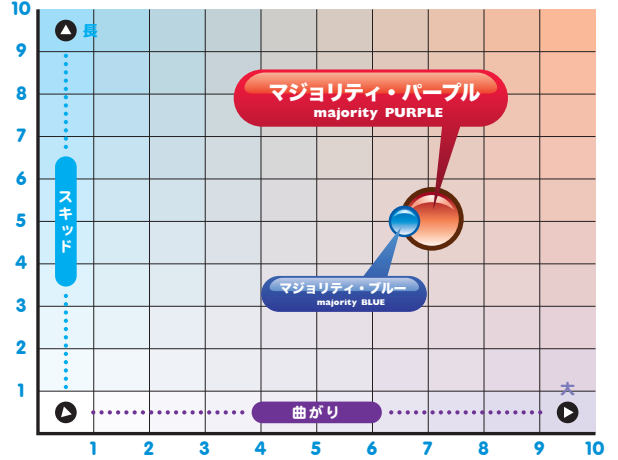
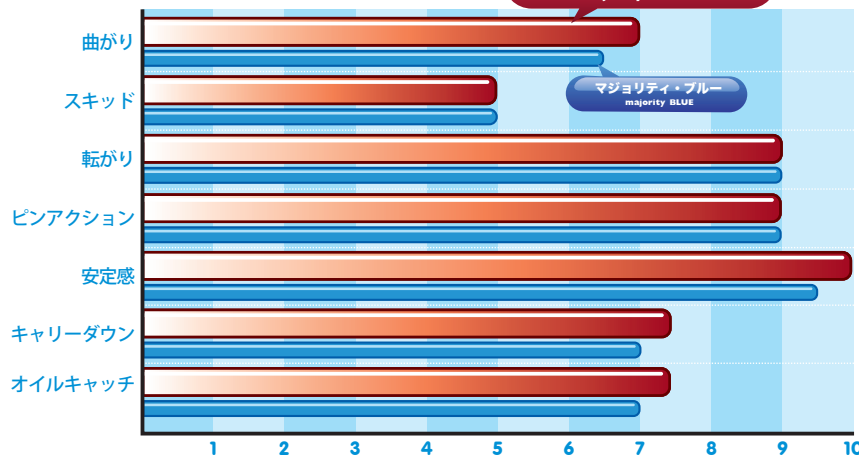
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション

バックエンドリアクション

レンジス

Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

PRO-amモデルはABSで唯一の国内限定で販売するボールだけを作り上げるブランドで、ユタ工場ですべて製造されていることは初代インベーターの頃から変わりはありません。そのブランドの優位性は国外のカバーストックを使い、日本のコンディションにマッチした性能を作り上げられることにあり、「日本好み」のボールに仕上がることであります。

今回のmajority PURPLEも「日本好み」のボールですが、歴代のmajorityと比べても同じものはなく、しっかりパフォーマンスを分けて発売致します。

ABSボール開発チームがmajorityに求めるものは開発当時から変わらず、「領域を落としても素材は落とさない」とこと、ミディアム領域から下のボールになると曲がりが少なくなる、オイルに弱くなる、そしてピンの飛びが悪くなるという日本のボウラーの間で今も根強いイメージを払拭することです。

majorityで打ち出しているコンセプトはオイルが薄いコンディションないしは変化して普段お使いのボールの走りが悪くなってきたときにその優位性を高く感じるボールです。最近の為替変動の影響で、全国的にレーンコンディションのオイルの量を少なくして営業しているセンターも多くなってきています。

そんな状況下でもこのmajority PURPLEがあれば十二分にパフォーマンスを発揮させることができるでしょう。

私がテストしたイメージでは、シリーズの中でも一番走りのなかにややキャッチを感じ、走るもののカバーが弱いというイメージは浮かびません。歴代majorityの中では一番滑りを感じない出来で、先で動く感じはmajorityそのものなのですが、シリーズ中一番の安定感を得られました。ピンをたたくイメージも歴代一番ですので、価格帯以上の出来を感じて頂けるでしょう。

特記事項

価格帯を上回る上質な素材が活きるパフォーマンスで、走りの中に安定感を増した特徴がしっかりでています。競技ボウラーから初級者まで多くの方に使用して頂きたいボールです。